

### 3 電源装置とその具体的使用例

#### 1 機能と操作法

理振法の規格に適合している電源装置ならば、どの市販品でも計器、電流調整用のツマミ、そして出力端子がついています。先ず、これらについて説明しておきます。

##### (1) 計器

計器は2つついているものと、1つしかついているものがあります。

2つついている場合は、それは電流計と電圧計です。

1つしかついている場合は、電流計、電圧計が共用の型になっていて切換スイッチで電流計として使

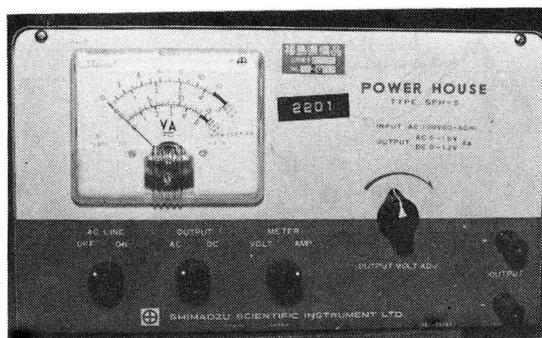


写真-6

たり、電圧計として使ったりすることができます。

##### (2) 電流調整用ツマミ

電流の強さを加減するときに使いますが、スライド方式のものとノッチ切換方式のものがあります。(スライド方式の方が、使ってみて便利です。)

##### (3) 出力端子 A C

この端子からは交流 (ALTERNATE CURRENT) を取り出すことができます。

交流は、写真-7のように向きも強さも変わる電流です。

##### (4) 出力端子 D C

この端子からは、直流 (DIRECT CURRENT) が得られます。普通の電源装置で得られる直流 D C は、交流を単に整流しただけのもので、写真-8のような形をしています。写真-9 は電池から流れる電流を示していますが、これと比較すると大変でこぼこしていますが、電流の向きはいつも変わりませんから、これも直流として扱ってよいのです。

なお、電源装置によっては、出力端子は A C、D C 共用の方式をとっているも